

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日		
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	化学療法委員会承認 平成 年 月		
レジメン名	VP-16+CBDCA(小細胞がん)				
疾患名	小細胞がん	適応の備考	がん腫:胆のう、膵、肺、胃、食道の小細胞がんを使用する。		
適応分類	進行再発				
1コース日数	21 日間	総コース数	有効な限り コース催吐性リスク 高度		
抗がん剤投与量・投与日 エトボシド 80mg/m ² day1,2,3、カルボプラチン AUC4~5 day1					

治療スケジュール・投与日程 (投与日は●)		(day)																							
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30分	●																				
	点滴静注	プロイメント注150mg	1 本 / body		●																				
2	主ルート	アロキシ注バッグ0.75mg	1 本 / body	30分	●																				
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2mL	1 本 / body		●																				
		デキサート注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body			●																			
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	30分		●																			
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2mL	1 本 / body			●																			
4	主ルート	生食50mL	1 本 / body	30分				●																	
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2mL	2 本 / body					●																	
5	主ルート	生食500mL	1 本 / body	1時間	●	●	●																		
	点滴静注	エトボシド 100mgあたり、250mLの生食液に混和	80 mg / m ²																						
6	主ルート	生食500mL	1 本 / body	2時間	●																				
	点滴静注	カルボプラチン AUC4~5を1日標準投与量とする	AUC 4~5 / body		●																				
7	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5分	●	●	●																		
	点滴静注																								
8	経口投与	デカドロン錠 分2 朝昼食後	16 mg / body					●																	

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

- ・プロイメントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ・プロイメントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ・プロイメントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
- エトボシド: DEHPフリー点滴セット使用。
- ・day4のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる。経口投与が困難な場合は注射薬での投与を検討する。